

Yahoo!ジオシティーズサービス終了のお知らせ

[シャンプーを替えるだけ？](#)

hcs-sastty.com

初回限定1本1,000円OFF♪髪をいたわり染める白髪ケア

Ads by Yahoo! JAPAN



最長6時間予測
雨雲接近を通知
ウィジェット対応
Yahoo!天気アプリの雨雲レーダー

次の夢を追いかけて

ず〜っと夢だったスパルタスロンへ

2007年9月27日

アテネ市内観光 & エイドのスペシャル

[前日26日はこちら](#)

夏時間のため、朝は7時にやっと明るくなる。ジョイナーやY子さんが仲間を誘って、ビーチの遊歩道を昨日とは反対方向にジョグ。海側に観覧車が見える。これがホテルに戻るときの目印になるな。カフェやタベルナがあったり、スポーツ施設があったり、あとはよく覚えていない。折り返してホテルに戻り、5〜6キロくらいかな？

朝食もビュッフェで、ヨーグルト、缶詰の桃、パン各種にバターやジャム、ハム、チーズ、ベーコン、卵が並ぶ。それにシリアルとミルク、ドリンクはコーヒー紅茶。でも野菜が全くない。つらいなあ。せめてジュースでも、と思ったら有料だった。

上位を狙うグループは、体力温存のため終日ゴロゴロ寝ているようだ。4人の相部屋を避け自費で別ホテルを取っている人もいる。ホテルでじっとしているのもかえって疲れるからというジョイナー達とアテネ中心部に繰り出した。私たちの部屋と、コノチャンさんの部屋の合同だ。市内バスは0.5ユーロ。チケットは事前購入制で、キオスクなどに行かなければ買えない。あわててチケットなしで乗り込んだ場合、ばれなければラッキーだがひっかかると無賃乗車で罰金が超高い。0.05ユーロの手数料とられホテルでゲットすることができた。

市街地へは渋滞の時間帯で1時間かかった。しばらくは海岸に近い道。向こうの岬は丘のてっぺんまで白い家が並び、絵に描いたような南欧だ。沿道がだんだん賑やかになり、市街地に入っていく。シンタグマ広場で下車。変わったギリシャ文字の標記で、そういわれればなんとなくそうかな？英語標記併用でないとなさっぱりわからない。これではレース中も現在地や進行方向の地名がわからないだろうな。前後のランナーと離れると道を間違えることもよくあるそうで、大変だ。

平日だがシンタグマ広場には観光客が大勢。次の行は写真。



上の写真左のように、たくさんの屋台が出ていてパン、サングラス、お土産などを売っている。パンは大きいので割安だが、ジュースやアイスは高い。上の右の写真がシタグマ広場。



上の写真左右は衛兵の前で記念写真。衛兵は直立不動、あ、目玉だけちょっと動いた。

大通りを渡り、お店の多い裏通りを散策。坂を下ると聖堂があった。「神聖な場所だからきちんとした服装で」らしきことが英語で書いてあったが、入ってみた。天井や祭壇の絵が荘厳だ。なるほどヨーロッパ。市場へ行くというジョイナーたちと別れ、コノチャンさん、アロハさんとアクロポリスへ。

聖堂から左へ曲がるとまもなく遺跡の中の上り坂。左の遺跡は有料。外からでも雰囲気はわかる。カフェや土産屋の並ぶ坂道をジグザグに上る。そういえばどの建物も石造り、乾燥した感じだけど、花はきれいに咲いている。これがいかにもギリシャの雰囲気なんだな。見晴らしの良い公園風の所に出た。そこも遺跡で「アンシエントアゴラ」との看板があった。こちらは無料で入れる。ツルツルの赤い岩の上に階段で登ると、すばらしい見晴らし。アゴラ全体が見えるし、眼下にアテネの街、その向こうにも岩山があり、てっぺんはやはり遺跡らしい。もうアクロポリスの丘の頂上付近だが、どこまで無料で入れるのかな。あまり時間がないから高い金だしたくないし。観光客の波に押されて進んでいくと、いつのまにかパルテノン神殿の真下に来ていた。無料開放日なのかもしれない。



上の写真はパルテノン神殿。左のように足場を組んで修復工事中。



ここは観光の中心地、神殿の周辺は観光客でいっぱい。丘の上からの見晴らしはすばらしい。

登ってきたのとは反対側にアクロポリスを下る。森になるような高い木はなく、灌木ばかりだ。ギリシャはどこもそうらしい。遊歩道は観光客で渋滞しているのでトレイルランナーのアロハさんのあとについて灌木の間を近道。住宅や店の中に降り、すぐ賑やかな市街地に戻り、メトロの駅に。路線図で乗換駅、下車駅まで何駅かを数え、乗り込む。無事にメトロをクリア。オリンピック会場の近らしい、新しい街でトラムに乗換た。これでOKと思ったら途中で曲がってしまい、あわてて降りてビーチを歩き、次の駅へ。下車駅は景色とグリファダらしき地名でわかった。ギリギリで昼食間に合った～。生野菜もあってお変わり。メインの肉とパスタはやはり食べきれない。

エイドに荷物を預ける時間だ。いったいどこまで行けるのだろうか。確実に通過できそうな所に全部配置してしまおうか、でもスペシャルをとっている時間なんてなさそうだし。昼間は暑くて食欲ないだろうし、後のほうでは疲れて食欲ないだろうし。いつも元気なジョイナーが、「どうせ何も食べられなくなるしね」などとY子さんと話しているのを聞くと、このレースの厳しさを感じ、ますます落ち込む。とても到達できるとは思えないところも、もしもの場合の備えスペシャルを配置、イメージがわかず悲しい。日没の予想されるところにライト、深夜寒くなりそうなサンガスの麓にウインドブレーカー上下、夜が明けるあたりにライトを回収するスパルタ行きの袋と、替えのソックスや食料、暑くなりそうなところに、ウインドブレーカーを回収する袋と、予備のサングラス。食料はエイドの品数が少ないところに。スペシャルを預けたところまで行けなかった場合、無事スパルタに届けられるのだろうか？とても心配だ。ジョイナーたちは、だから安物を預ける、と言っている。

説明会にみんなが集まってきた。その前に、気がかりだった帰りの飛行機のリコンファーム、は～さんに電話かけてもらって、無事クリア。説明会は、主催者が英語とギリシャ語で、そして日本人が多いので通訳がついてくれた。

さてここで、**ビックリ事件の予感が**。スパルタでは**日本人だけ別のホテルを用意する**というのだ。**荷物はどうなる？**すると、荷札が配られた。日本人の泊まるホテル名を書いて、明日朝、トラックに積むときは他国の選手がすんでから最後に、スパルタに着いたトラックはまず日本人のホテルで荷物をおろし、残りを他国の選手のホテルに持っていく、日本人のホテルではそれぞれの部屋に入れておく、と言うのだ。**でも誰も信用しない**。「面倒だから全部送り、ここには残さない」と言っていたジョイナーたちがあわてて最小限のものだけ送るため荷造りを始めた。

夕食は「パスタパーティー」なのに、Y子さんとジョイナーはレトルトカレーやら何やらいろいろ用意し始めた。なんで？というの、食堂にあったのは**茹でてオイルをからめた味の無いパスタだけだった**。梅醤油をわけてもらい、美味しくいただきました～。

伏見さんは、故障上がりなのでDNSにすると。「あと5年早く始めれば良かった」と悔やまれるそうだ。これはレースで、マラニックやジャーニーランとは全然違う。みんな、この大会に向けどんな練習をしているか、ここにピークを持ってこるため、計画的に100キロやフルの出場を積み重ねているかを話してくれた。ある快速ランナーも、ピークのころやっておかなかったため完走まで苦労したとか。しかし、旅がらすの場合、いつだったら可能性があったのだろう。ピークするとき？そのころ、250キロなんて思いもよらなかった。5年前はもっと不調だったし。全く完走の見通しがたたない実力しかないのが悲しい。でも、この場に来れたこと、みんなからこういう刺激を得られることがうれしい。スタートからオーバーペースを強いられどこまで行けるのか見当もつかないし、徹夜で走ることはありえないけど、明日に備えて早く寝る。

[28日に続く](#)

[旅がらすの乱RUN欄 2007年9月に戻る](#)

[からっ風の丘からHOME](#)

1か月定額制 マンスリーコース

1億円の
信用取引も
格安手数料!



岩井コスモ証券 [詳しくはこちら ▶](#)

～健康黒酢のシヤリに合う～

圧巻の山盛り

12月13日日本まで

なんと!
100円
かににぎり



嵐 くら寿司 [詳しくはクリック](#)

シャンプーを替えるだけ?

hcs-sastty.com

初回限定1本1,000円OFF♪髪をいたわり染める白髪ケア



1億円の信用取引も格安手数料!

www.iwaicosmo.net

投資スタイルに合わせて選べる1ヶ月定額制のマンズリーコース／岩井コスモ証券

Ads by Yahoo! JAPAN